

不足あり一也物此目今
 最肝ある人民の通るあり
 是の貴族平民の交わり
 家立度
 民と交わり身並
 糊口を資する民との交わり
 以二者常
 有凌辱するもの
 平民の貴族の
 如し其勝敗の結果
 近日全歐の一大
 変革なり
 識者の冥
 心する要也
 研究ありあり
 貴族の所置
 民法の突進する
 議論山積
 長き記す
 能物之
 其性質大異
 あり只其名
 同視而
 不安あり
 彼雑法の
 巻尾を
 其の英
 議院の
 述る
 一柱
 怪し
 吾今日之
 貴族を
 其昔日の
 豪族に
 附合し
 強き
 辭説の
 根脚とす
 笑べし
 且媚
 其を
 乎抑
 彼講者の
 如く
 無学の
 頑物論
 あり
 其の
 大匠を
 御
 席せり
 傾聴
 遂に
 天下を
 示す



歩少ふ

愧と謂へし又況古人を人より道を弘む
道大を弘む能す西人又云人より名を有す
名人を有さず諸君以徳の盛を欲はる
意を人物の撰擇に加よ又況古仲玉
の貴族王室を扶へ而王室と共に倒れ
英王の貴族王室を扶へ而王室と共に
共存す敢以為献 諸君或は海内思する
愛する人 勇性資狂放大足の者なるも也
而言辭を打直不避忌諱 奇々亮家
をよむる者しりる者近み其胸懐を
纏の懐懐に毛柱の如く愛するは

八月一日相替十二字時認干

江老く宿梅干時日若雨既晴

星斗満天 頗る秋涼の意あり

梁蘭先生

秋小

即初

又内今年此比日者氣殊烈扶桑如何
日陰を得多る在即此 以下原に寫
有るに於て是之を以て出来次第可
見出され何卒大足の方より是種に
照別 和家一大家

漢語より御書より面筋より忠告より美結
於可然より江急より野より遠他の御部
より時より豈より分より一より報の道ありんや
漢語を流し味を他の属にありしし申出せし
由より侍りし

先達より金あり著るを娘節用と云ふ三金五郎
し小説を送り越さる物宛に申せし要未の末
よりす御日教を算す世に御程の前のる取
成り相篇不連一故とあり何卒其の小説を
御急より送られし以外集古十種及新古
刀録鑑一本但し類一本御種よりんし
何れも新古刀を鑑定するのみ其の如き也
御守り

此書は覽ねば校火あり於子法信の中
然り侍りし

